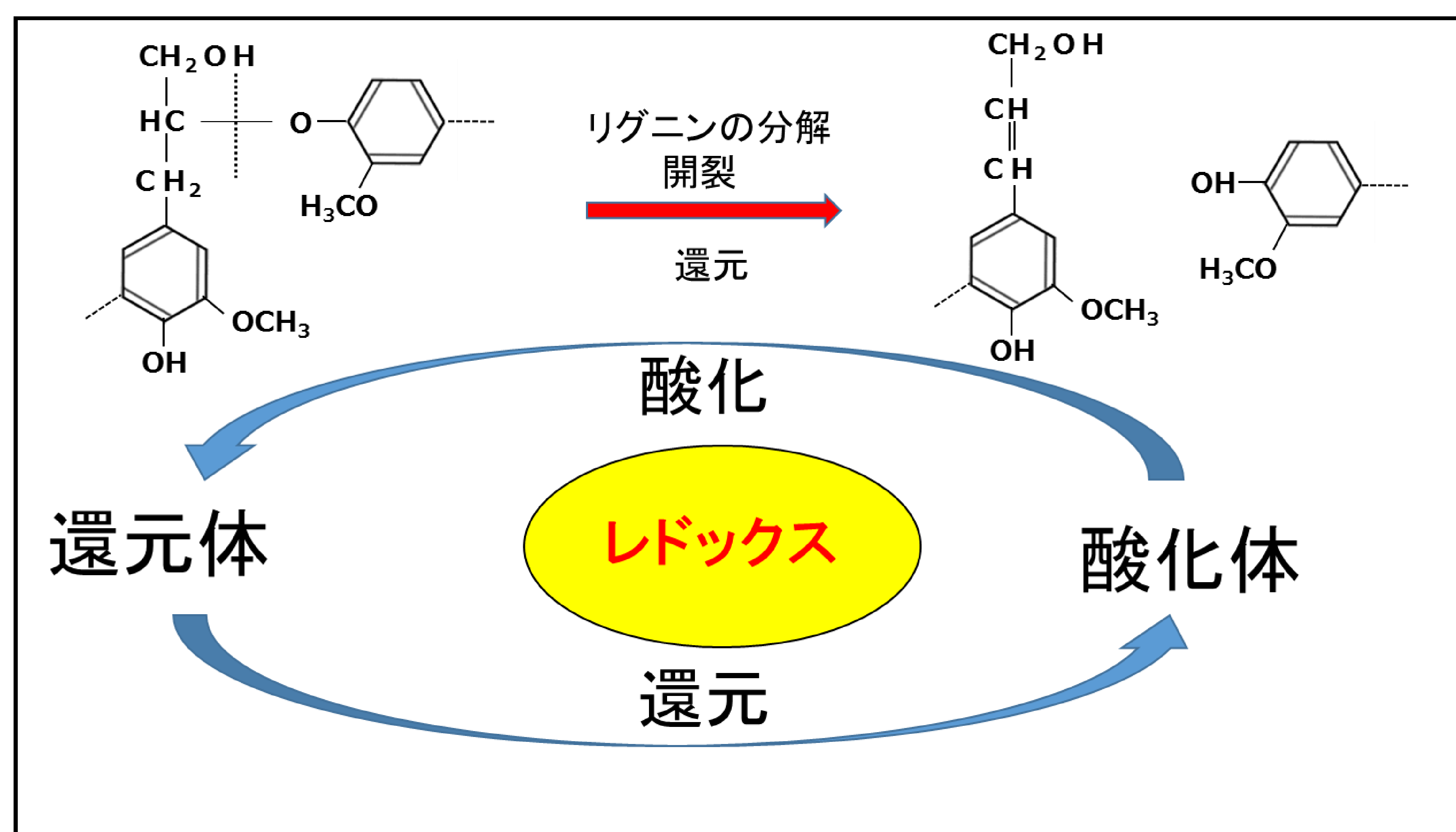


開発品

新規蒸解促進剤

- これまで検討されてきた浸透作用による蒸解促進剤ではない
(レドックス理論をもとに開発)

酸化還元機構によってリグニンを分岐



蒸解試験(L 材)

試験条件

L材(広葉樹) 50g

蒸解液150g

水酸化ナトリウム 93g/L

硫化ナトリウム 25g/L

蒸解条件 150℃×1時間

密閉容器(回転)使用

200メッシュふるい上シャワー洗浄

24メッシュふるいにて木片を除去

ノット (木片残留)

	蒸解パルプ手抄き紙	拡大
blank		
日華化学品 固形分500ppm		

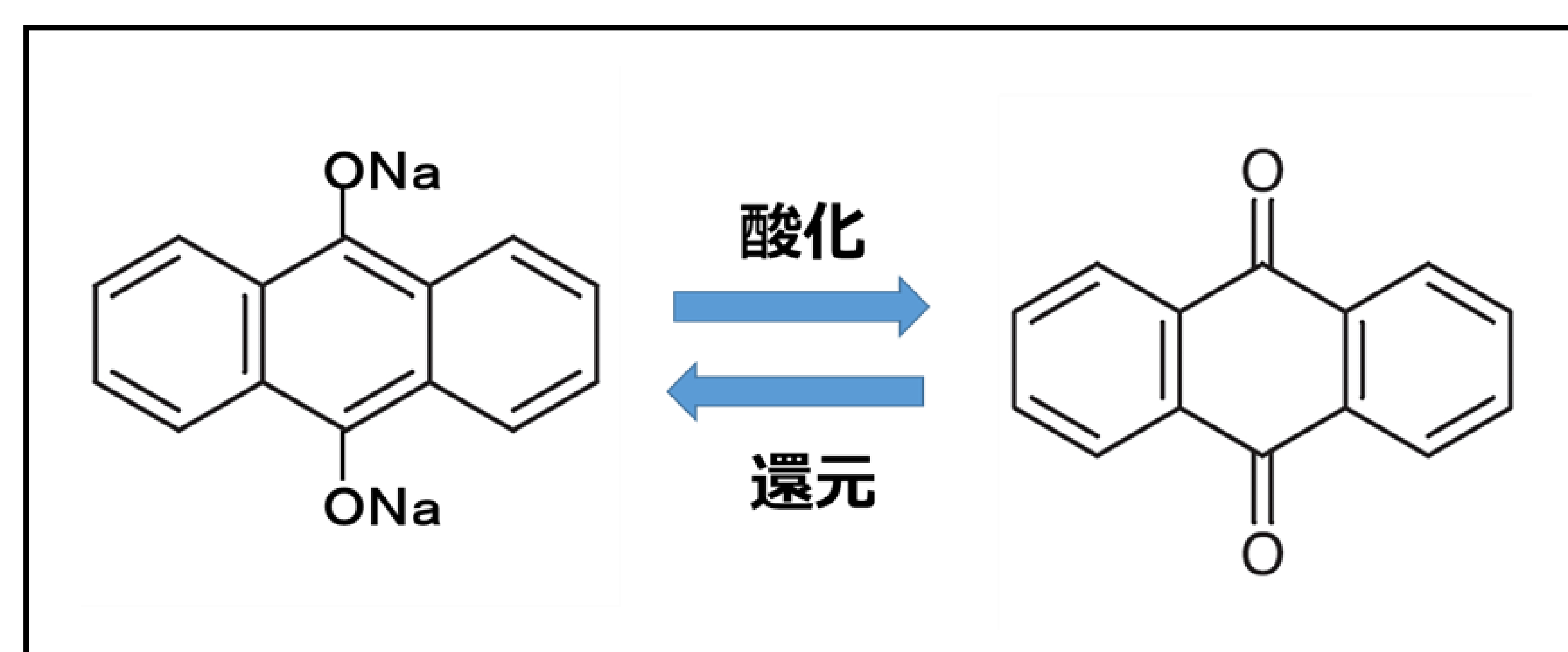
蒸解パルプ及びカップー価

	ノット除去後 手抄き紙シート	拡大	カップー価
blank			30.5
日華化学品 固形分500ppm			27.0

これまでの蒸解促進剤との違い

より安全でレドックス効果の高い化合物の発見
優れた蒸解促進効果が確認された

- ノット (木片残留) の低下 蒸解時間短縮 歩留まり向上
- カップー価の低下 漂白効率の向上
- 木材由来のピッチの低減 (分解効果)



アントラキノン
酸化・還元反応の繰り返し (可逆的)
レドックス効果